

# 駅周辺まちづくりワークショップの取り組み

## 一群馬県みどり市「岩宿駅周辺まちづくりワークショップ」の事例一

前橋工科大学大学院 工学研究科 博士後期課程 宮崎 友裕

前橋工科大学大学院 工学研究科 教授 森田 哲夫

tmorita@maebashi-it.ac.jp

### はじめに

国土交通省「駅まちデザインの手引き」では、駅・駅前広場・周辺市街地を「駅まち空間」と捉え、関係者が連携してまちづくりの中核を担う場所とする取組が重要とされている（国土交通省 2021）。本稿では、地方都市において駅周辺整備計画策定前に実施された住民参加によるワークショップの事例に着目し、地域住民が駅に期待していることを明らかにする。

### 1. 対象事例の概要

本研究では、JR 両毛線の岩宿駅（群馬県みどり市）に着目した（図1）。岩宿駅の1日平均の乗車人員は、直近10年ではコロナ禍の2020・21年度を除き約1,100～1,200人台であり、うち約70%は定期券利用である。

「みどり市都市計画マスタープラン」では、岩宿駅周辺は市の地区拠点と位置付けられている（みどり市 2024）。市では駅から約1km圏を対象とするまちづくりの計画である「岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン」（以下、まちづくりプラン）策定に向け、2022年7月～11月に計4回の「岩宿駅周辺まちづくりワークショップ」を開催した。概要を表1に示す。



図1 みどり市・岩宿駅の位置

表1 ワークショップの概要

■参加メンバー		
地域住民	周辺行政区(計4区)の区長・副区長・推薦者	
子育て世代	小中学校のPTAの役員	
にぎわいづくり	市観光物産協会、町商工会、スポーツ協会、笠懸野文化ホール運営協議会	
まちづくり	前橋工科大学地域・交通計画研究室	
サポート	みどり市都市計画課、株式会社建設技術研究所	
■各回の概要		
	開催日 2022年	内容
第1回	7月2日	駅周辺エリアの魅力・課題、改善に向けたアイデアを考える⇒市民ニーズを把握する
第2回	8月18日	駅周辺まちづくりで出来ること、したいことを考える⇒整備方針図を検討する
第3回	9月29日	駅周辺の整備イメージを考える⇒具体的な整備イメージを検討する
第4回	11月24日	駅周辺の整備計画案を考える⇒短期5か年の整備計画案を検討する

出典：ワークショップ資料より作成

### 2. ワークショップから見る駅・周辺の課題

第1回ワークショップでは、駅・駅周辺の課題や改善の意見交換が行われた。

駅については駅舎・駅前広場・跨線橋に関する点を中心に主に下記の課題や意見が出された。

- ・駅舎：待合室への空調、待ち時間に勉強や飲食可能な机を整備してほしい。
- ・駅前広場：ロータリー等が未整備であることから歩車分離がされていない、夜間暗く人通りが少ないため、帰宅時の子供が不安になる。
- ・跨線橋：現在駅の改札口は北口一か所にあるため、南口へは跨線橋での連絡となるが、跨線橋がバリアフリーに対応していない点や、暗い・落書き等が見られる点。

上記は、同駅利用者は生徒・学生が多く、家族等の自家用車での送迎により駅にアクセスしていることを反映したものと考えられる。

一方、駅周辺では、例えば歩道や道路に関し、照明が少ない点や、駅から高校・体育館・公民館・競艇場等の周辺施設への経路に歩道が整備されていない点が挙げられた。この他、駅前に空き家があり景観を損なっている点、周辺の歴史・自然資源である岩宿遺跡や阿佐美沼の活用に向け、駅からのバス等の移動手段の整備等を求める意見が出された。

### 3. ワークショップの意見の計画への反映

ワークショップにて出された意見は、4つのテーマに分類された計39項目に集約され、まちづくりプランに盛り込まれた。ロータリー方式による北口駅前広場の再整備の検討や、駐車場・駐輪場の拡大、歩道の整備や街灯・防犯カメラの設置等の5項目は、市が5年以内に実施する項目である短期メニューと位置付けられた。一方、駅舎に関する内容（橋上化等による南側への駅改札口の増設、バリアフリー対応、飲食が可能なスペースの設置）や連続した歩道の設置による回遊性の向上の検討は、10年以内に実施する中期メニューとして盛り込まれた。

### 4. 駅前広場の配置の検討

ワークショップの第3・4回では、短期メニューのうち、北口駅前広場のレイアウトの検討が主に行われた。事務局から駅前広場のレイアウト案が提示され、県道への出入り方法（信号無しのT字路ないし信号付きの十字路）や、駅前広場にP&Rの駐車場もしくは多目的スペースを設置する場合が比較検討された。ワークショップでは、駅前広場の出入口への信号整備並びに駅前の駐車場整備が望ましいという意見が多く、ワークショップ結果を反映し、今後市ではこの案を前提に県・警察と協議しながら検討することがまちづくりプランに盛り込まれた。多目的スペースの設置は将来の南口駅前広場の整備時に行うこととされた。

### おわりに

ワークショップでは、生徒・学生が駅利用者の中心であることを反映し、送迎を待つ生徒・学生や、駅まで自家用車で送迎する家族の意見として、駅舎の待ち環境や駅前広場の整備が駅への期待として挙げられたと考えられる。また、駅前の空き家や駅周辺の歩道整備に関する意見からは、駅と周辺の改善を組み合わせる必要があることが示されていると考えられる。

まちづくりプランはパブリックコメントの手続き後、2023年3月に公表を迎えた。今後、ワークショップで議論されプランに盛り込まれた北口駅前広場の再整備の都市計画決定が期待される。また、まちづくりの手法としてのワークショップについて、下表2の通り群馬県では2020年度以降みどり市以外でも10市町にて市町村の計画策定に際しワークショップによる住民参加が図られている。今後、地方都市においても計画策定に際し、ワークショップを通じた住民参加が徐々に広まると考える。

表2 群馬県内市町村におけるワークショップ

市町村名	目的	実施月	回数
伊勢崎市	第3次伊勢崎市総合計画の策定	2023年9月～10月	3
太田市	藪塚地域における土地利用に関するワークショップ	2022年10月～1月	4
安中市	第3次安中市総合計画の策定	2023年5月～8月	市民1 高校8
東吾妻町	群馬原町駅南側地区まちづくり計画の策定	2021年7月	2
館林市、板倉町、明和町	館林都市圏地域公共交通計画策定	2020年度	-

### 参考文献

- 国土交通省(2021)「駅まちデザインの手引き」  
 みどり市(2024)「都市計画マスタープラン」  
<https://www.city.midori.gunma.jp/shisei/1001659/1001843/1002944.html>  
 みどり市(2022)「岩宿駅周辺まちづくりワークショップ」各回配付資料、かわら版  
 みどり市(2023)「岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン」